

## 世紀東急工業株式会社 株主総会議事要旨

日時：2021年6月23日 10時～10時45分

場所：メルパルク東京5階 ZUIUN

1. 議長（平社長）による報告事項の説明（ナレーションによる説明も含む。）
2. 議長（平社長）による決議事項の説明
3. 株主提案（第5号議案）の補足説明

（以下は、上記3.におけるストラテジックキャピタル加藤の発言）

### ① 中期経営計画について

以前、当社と議論させていただいた際、「東日本大震災発生の前後で月商の1倍程度、首都直下型の震災を想定すると月商の2倍程度の手元流動性が必要」とのことであり、今回の中期経営計画でも売上高2か月程度の健全な手元流動性を維持するとしている。そして、本年3月末現在、既にこの水準の手元流動性を保有しているのではないかと。

また、今回の中期経営計画及び2030年のあるべき姿でも当社は自己資本比率50%を目安としており、これも本年3月末現在で達成している。

私どもは、手元流動性や自己資本を減らせと言っているわけではなく、これ以上増やさなくて良いだろうと言っているだけである。負債をあまり活用せず自己資本を積み上

げる当社の経営方針が、ROE を低下させ、株価の評価を下げている。2013 年 9 月末の自己資本は 110 億円であったが、この 3 月末は 408 億円である。この間、自己資本は 3.7 倍になっている一方、株価はわずか 39%しか上がっていない。これが株主提案の背景である。

#### 4. 質疑応答

(以下は、上記 4. におけるストラテジックキャピタル加藤の発言等)

##### ① 配当性向 100%を求める株主提案について

当社は、昨年が続いて、本提案について「将来における経営環境の変化や継続的な事業投資の必要性を顧慮しない、短期的な視点に立脚したものであり」としている。当社が短期的な視点であるとして株主提案に反対している以上、当社経営陣は中長期的視点に立って経営しているはずだ。それにもかかわらず、中長期的に株価が不冴な理由を教えてください。

平社長：(株価については株式市場全体の動きによるところが大きいと回答。)

本提案は、当社の財務状況を勘案したものであり、配当性向 100%が何故短期的なのか論理的な説明をしていただきたい。

石田取締役：(マクロ環境の不透明な要素に対応するためには、財務健全性が必要になると回答。)

## ② 中期経営計画について

当社は、本年5月12日に3ヵ年の新中期経営計画と自社株買いを発表した。その発表直後に株価は下落し、さらに本日まで株式市場は上昇しているのに、当社株価は全く上昇していないことから、投資家はその中期経営計画に落胆したのだと思うし、株主価値向上に資する中期経営計画の策定を繰り返しお願いしてきた私どもからすれば、失望以外の何物でもない。

その大きな要因は、同業他社と比較すると極めて保守的な業績見通しと、業績が低下する中、更に自己資本を積み増す、すなわち資本効率を平然と低下させるということだ。投資家が失望するのも、もつともだと思う。

新中期経営計画では、残念ながら配当性向30%程度・総還元性向50%以上という低い目標が掲げられた。いずれにしても、新中計期間中に自己資本が積み上がる計画だ。同時に自社株買いも発表されたが、それ自体は、自己資本を低下させる歓迎すべきことであるが、当社がなぜ大きな増配でなく、自社株買いを選択したのか理解に苦しむ。東急建設、東急が当社の26%の株式を保有している状況で、自己株取得をすれば、株式の流動性が低下する懸念があるからである。

先に申しあげた通り、特段努力せず達成できる目標を設定し楽をする、厚い現金や自己資本の上に座って楽をする姿勢で、このように株主価値を向上させない計画を発表する経営陣は、自身を甘やかし株主のことを軽視しているといえるであろう。それなら、

広く投資家から資金を調達することを止めて、非上場になったらどうか。

### ③ ESG について

これまで当社は統合報告書も公表していないし、今回の新中期経営計画で ESG に言及しているが、そこで書かれていることは未だ抽象的である。関連する様々な事項について、具体的な数字とともにできるだけ早く開示して、投資家を安心させてほしい。今後の ESG に対する開示、統合報告書の開示について、どのようなスケジュールで取り組むのか。

平社長：統合報告書の開示時期は早ければ今年度、もしくは来年度の前半を目標としている。

ESG の S について、当社は独禁法違反や談合を繰り返してきた過去があり、それが投資家を不安にさせ、当社の資本コストを高くしている大きな要因の一つであることから、この場で質問させていただく。再発防止策策定後、製品部門の調査対象者を対象としたアンケートおよびヒアリングの結果をお伺いしたい。また、同じく再発防止策策定後、営業担当者を対象としたアンケートにおいて、競合他社との不必要な接触が見られた件数をお伺いしたい。

石田取締役：（特段問題になることは起こっていないと回答。）

### ④ 議決権行使について

第1号議案に賛成、第2号議案の取締役選任は、樗木候補については賛成し、それ以外の取締役再任は反対する。第3号議案の監査役選任議案は、反対する。また、第5号議案については、賛成とする。なお、第4号議案については、株主総会の冒頭に第4号議案の撤回及び議案取り下げの報告があり、決議されなかった。

#### 5. 議案の採決

会社提案を可決、株主提案を否決して終了。

以上